

## 専念寺

宗派：真宗大谷派  
本尊：阿弥陀如来  
創建：未調査

専念寺（せんねんじ）は、愛知県西尾市上羽角町郷内121にある真宗大谷派の寺院。



専念寺山門 20161013



専念寺本堂 20161013

西尾市の指定文化財の指定（説明）があり、以下にそれを転記した。

<b>専念寺の文化財</b>	
所在地	西尾市上羽角町郷内2
管理者	専念寺住職
<b>専念寺のクスノキ</b>	
区分	西尾市指定・天然記念物
指定	昭和51年10月22日
クスノキ科の常緑高木、栽植されたもの。	
根回り	7.98メートル、胸高囲 4.10メートル、樹高 約28メートル
<b>高杯</b>	
区分	西尾市指定・考古資料
指定	昭和55年5月19日
古墳時代後期の須恵器で有蓋高杯であるが、蓋部は欠失。	
高さ	17.5センチ、坏部口径 15.5センチ
最明寺山古墳群の内の三の山古墳出土と伝える。	
平成2年3月20日 西尾市教育委員会	

専念寺は上羽角出身の村越茂助直吉の菩提寺といわれている。村越茂助直吉の墓と伝えられているものが、専念寺と三ノ山共同墓地（上羽角共同墓地）にある。前者は宝篋印塔（ほうきょういんとう）の笠の部分が残り室町時代中期のものとされている。後者は宝篋印塔の笠の部分と五重塔の一部を組み合わせたもので室町時代末期のものとされている。

専念寺の楠はクスノキ科の常緑高木。西尾市内では最大と見られ、樹勢も良い。



専念寺楠 20161013

項目	内容
指定・種別	西尾市指定・天然記念物
所在	上羽角町 専念寺
樹種	クスノキ
幹周囲	4.1m
根回り	7.98m
樹高	約 28m

専念寺所有の高杯は6世紀の有蓋高杯であるが、蓋部は欠失している。脚部の透かし孔は長方形で2段3ヶ所、計6ヶ所をうがつ。最明寺山古墳群のうちでは最大級の三の山古墳出土と伝えられる。



項目	内容
指定・種別	西尾市指定・考古
員数	1点
出土遺跡	最明寺山古墳群
時代	古墳時代後期
所蔵	上羽角町 専念寺

(注) 写真は西尾市文化財ホームページより

徳川家康の老中まで務めた村越茂助直吉の墓と伝えられているものが鐘楼のそばにあり、宝篋印塔（ほうきょういんとう）の笠の部分が残り室町時代中期のものとされている。



専念寺鐘楼(右に村越の墓) 20161013



専念寺 村越の墓 20161013

三ノ山共同墓地（上羽角共同墓地）にある墓は宝篋印塔の笠の部分と五重塔の一部を組み合わせたもので室町時代末期のものでされている（筆者は現認できなかった）。



上羽角共同墓地入口 20161018



上羽角共同墓地全景 20161018



上羽角共同墓地 20161018



共同墓地 村越の墓



本項は以下の資料を引用している。

**[六ツ美南部の歴史・文化を紐解く]**

著者： 岡崎市立六ツ美南部小学校 高須 亮平

発行日：2012（平成24）年3月31日 初版発行

印刷所：ブラザー印刷株式会社